

[備考] (記入要領 P5, 6)  
 をご覧のうえ作成してください

青年等就農計画

原則として、①農地の取得時期、②主要な資産の取得時期、③本人名義の取引開始時期のうち、最も早い時期とする。  
 その他、青色申告を提出した場合は事業開始日、農業所得の申告状況や相続の発生日等を踏まえ設定する。

住 所 長野市大字鶴賀緑町1613番地

長野 太郎

就農地	長野市	農業経営開始日	平成29年4月1日
就農形態 (該当する形態にレ印)	<input checked="" type="checkbox"/> 新たに農業経営を開始 <input type="checkbox"/> 親(三親等以内の親族を含む。以下同じ。)の農業経営とは別に新たな部門を開始 <input type="checkbox"/> 親の農業経営を継承 ( <input type="checkbox"/> 全体、 <input type="checkbox"/> 一部 ) 継承する経営での従事期間		
目標とする営農類型 (備考の営農類型の中から選択)	単一経営(露地果樹)		
将来の農業経営の構想	(例) 農業技術の向上、機械化、規模拡大等により、りんご専作で、年間所得250万円、労働時間2,000時間を目指す。 中性種の新規導入により労働力の分散を図る。		

年間目標農業所得は概ね250万円以上とし、収支計画(別添1)の5年後(計画)の農業所得額と合致すること。  
 年間目標労働時間は2,000時間程度。

- 認定基準 【以下にすべて該当すること】
1. 計画における農業経営開始5年後の所得目標等が、市が策定した「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」に照らして適切であること。(農業所得目標額250万円程度)
  2. 計画が現実的で達成が確実であること。
  3. 年間総労働時間2,000時間程度を確保すること。

の現状)	経営開始年を含め5年後を和暦で記載	
現状	目標(平成33年)	
1,130千円	3,110千円	
1,600時間	2,100時間	

作目・部門名	現状		目標(平成33年)	
	作付面積(a)	生産量(kg)	作付面積(a)	生産量(kg)
りんご				
ふじ	40a	16,000kg	60a	24,000kg
つがる	0a	0kg	20a	7,600kg
シナノスイート	0a	0kg	20a	8,000kg
合計	40a	16,000kg	100a	39,600kg

生産量の目標について  
 長野県が策定している農業経営指標を参考に、技術レベル、地域の平均的な収量を考慮して記載する。

農業経営の規模に関する目標	区分	地目	所在地	現状	目標（平成33年）	
	所有地	畑	長野市豊野町	20a	40a	
	借入地	畑	長野市豊野町	20a	60a	
	特定作業受託	作目	作業	前ページの作付面積合計と所有地、借入地、特定作業受託の合計がそれぞれ合致すること		量
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
	作業受託	作目	作業	現状	目標（年）	
		—	—	—	—	
		単純計		—	—	
		換算後		—	—	
農畜産物の加工・販売その他の関連・附帯事業	事業名	内容	現状	目標（年）		
	—	—	—	—		
生産方式に関する目標	機械・施設名	型式、性能、規模等及びその台数				
		現状	目標（平成33年）			
	動力噴霧器 管理機 軽トラック スピードスプレー	3.5MPa 1台 1台 1台	3.5MPa 1台 2台 1台 1000ℓ 1台			
機械・施設の形式、性能、規模ごとに台数を記載し、リース、レンタル、共同利用等による場合は、その旨を記載する。						
経営管理に関する目標	<p>（例）青色申告の実施、PC活用による経理</p> <p>簿記帳、経営内役割分担、経営形態の近代化について記載する。</p>					
農業従事の態様等に関する目標	<p>（例）月に〇日程度を休日とする</p> <p>労働負担の軽減等について記載する。なお、家族経営協定を締結している場合は、その旨と協定に基づく家族間の役割分担等の内容を記載する。</p>					

目標を達成するために必要な措置	事業内容 (施設の設置・機械の購入等)	規模・構造等		実施時期	事業費	資金名等	
				年 月	千円		
	動力噴霧器導入	3.5MPa	1台	平成〇年5月	100千円	自己資金	
	管理機導入		1台	平成〇年5月	80千円	自己資金	
	軽トラック		1台	平成〇年5月	1,000千円	青年等就農資金	
	管理機導入	乗用12KW	1台	平成△年4月	700千円	自己資金	
	ｽﾍﾞｰﾄﾞｽﾌﾟﾚｰ	1000㍓	1台	平成□年4月	5,000千円	青年等就農資金	
<p>これまでの各項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来の農業経営の構想</li> <li>・ 農業経営の規模に関する目標</li> <li>・ 生産方式に関する目標</li> <li>・ 経営管理に関する目標</li> <li>・ 農業従事の実態等に関する目標</li> </ul> <p>以上について、目標を達成するために必要な施設の設置、機械の購入、その他農地の購入・賃借等の措置を行うのに必要な資金を記入する。</p>							
農業経営の構成	氏名 (法人経営にあっては役員の名)	年齢	代表者との続柄 (法人経営にあっては役職)	現状		見通し	
				担当業務	年間農業従事日数 (日)	担当業務	年間農業従事日数 (日)
	長野 太郎	30	本人	農作業全般	200	農作業全般	250
	長野 花子	28	妻	農作業補助、経理	150	農作業補助、経理	250
<p>農業経営に携わる方の担当業務と年間農業従事については、その現状と想定し得る範囲での見通しを記載する。この場合、現在は農業経営に携わっていないが5年後に参画する見込みの方についても記載する。</p> <p>年間農業従事日数は、1日8時間として計算する。毎日1時間ずつ働いた場合には、8日で1日と換算する。主たる従事者の「年間農業従事日数×8時間」と「将来の農業経営の構想」欄の年間労働時間が合致すること。</p>							
雇用者	常時雇 (年間)		実人数	現状	0人	見通し	0人
	臨時雇 (年間)		実人数	現状	3人	見通し	5人
			延べ人数	現状	※30人	見通し	75人

※3人を10日間雇用した場合

○ 農業経営基盤強化促進法第4条第2項第2号に掲げる者及び法人の役員（同号に掲げる者に限る。）が有する知識及び技能に関する事項

経歴	
職務内容	
勤務機関名	
在職期間	年 月 ～ 年 月
上記の住所	
退職年月日	年 月 日
資格等	
農業経営に活用できる知識及び技能の内容	

注：法人の場合は、役員（農業経営基盤強化促進法第4条第2項第2号に掲げる者に限る。）ごとに作成すること。

(参考) 技術・知識の習得状況	研修先等の名称	所在地	専攻・営農部門
	長野県農業大学校 果樹実科・研究科	須坂市大字小河原 492	果樹（りんご）
	研修等期間	平成27年 4月 ～平成29年 3月	
	研修内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 果樹栽培技術等の実習</li> <li>・ 教養科目及び農業筆記等の経営管理に関する講義受講 等</li> </ul>	
活用した補助金等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青年就農給付金（準備型）</li> </ul>		
過去に受けた農業大学校や先進農家等での研修内容について記載する。			

注：研修カリキュラム等を添付すること。

法人の場合は、役員（農業経営基盤強化促進法第4条第2項第1号及び第2号に掲げる者に限る。）ごとに作成すること。

(参考) 他市町村の認定状況	認定市町村名	認定年月日	備考
			他市町村において認定を受けている場合には記載する。